

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実	施策の目的	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する	施策	道路網の整備
-------	---------	-------	-----------------------	----	--------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
広域幹線道路の整備促進	鬼怒川ふれあい道路の整備促進	道路課
県道の整備促進	土浦境線整備促進期成同盟会への参画	道路課
市道の整備推進	道路の維持	道路課
	生活道路の整備	道路課
道路環境の整備	橋りょうの維持	道路課

目標

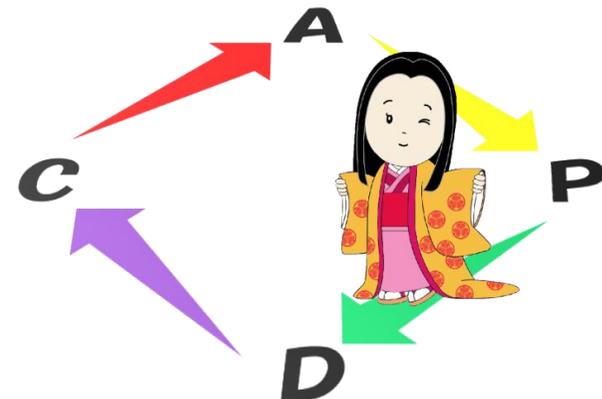
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
国・県道などの広域道路に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	46.6%	51.6%
市道など生活道路に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	27.3%	32.3%
都市計画道路整備延長	完成した都市計画道路の延長	県とともに県道などの整備を促進する。	50,480m	54,300m
生活道路改良率	車道幅員が5.5m以上に改良された道路(改良済道路)の延長割合	計画的な整備を進め、利便性の向上を目指す。	34.6%	35.0%

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

ライフラインとしての道路整理は必要不可欠であるため、今後も適正に実施すべきと考える。生活道路の整備は急務であり、早期の整備を特に望む。道路整備の優先順位付けについては、透明性を確保していただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	鬼怒川ふれあい道路の整備促進			
担当	地域拠点整備課			
予算科目	一般会計			
	8款	4項	1目	2事業
事業の目的	鬼怒川の西部地域における南北軸を縦貫する広域的幹線道路として、鬼怒川ふれあい道路の整備を促進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	道路網の整備
施策の方向	広域幹線道路の整備促進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	10千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		42.0 %
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 常総市内未計画区間、2路線について茨城県と協議開始。 鬼怒川ふれあい道路建設期成同盟会（構成市町：常総市、下妻市、八千代町）による整備促進に向けた茨城県知事要望の実施。 		

令和2年度	決算額	48,168千円
	うち 特定財源	46,740千円
成果実績		37.0 %
当初の成果目標		37.0 %
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業（都市計画道路 鹿小路細野線延長L=3.7km） 鬼怒川ふれあい道路建設期成同盟会（構成市町：常総市、下妻市、八千代町）による整備促進に向けた茨城県知事要望の実施。 		

令和元年度	決算額	71,412千円
	うち 特定財源	69,385千円
成果実績		37.0 %
当初の成果目標		37.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	鬼怒川ふれあい道路の一部である都市計画道路 鹿小路細野線（延長3.7km区間）については、平成31年3月に全区間を暫定的に供用開始し、残工事においても令和2年度に完了した。
分析	鬼怒川ふれあい道路の市内工区においては、同盟会による要望のとおり、茨城県において主要地方道取手豊岡線L=1.5km区間の早期完成に向けた整備が実施されている。今後は未計画区間2路線の早期着工の実現に向けた要望活動を実施し、鬼怒川ふれあい道路の完成を目指す。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	土浦境線整備促進期成同盟会への参画			
担当	道路課			
予算科目	一般会計			
	8款	2項	1目	1事業
事業の目的	主要地方道である土浦境線の未改良箇所の整備促進を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	道路網の整備
施策の方向	県道の整備促進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	10千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、担当者会議及び総会を書面にて開催した。要望活動については未定。		

令和2年度	決算額	10千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、担当者会議、総会及び県への要望活動を書面にて行った。		

令和元年度	決算額	10千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		100.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催及び書面要望となった。当市としては、鴻野山地内から孫兵工新田地内までの狭隘区間及び屈折箇所の改良整備について要望している。
分析	要望箇所についての整備が未実施であるため、今後も強く要望していく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	道路の維持			
担当	道路課			
予算科目	一般会計			
	8款	2項	2目	1事業
事業の目的	幹線道路, 通学路, 農道, 側溝など様々な補修の要望に対応し, 適切に維持管理する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	道路網の整備
施策の方向	市道の整備推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	113,156千円
	うち 特定財源	73,625千円
成果目標		80.0 %
実施内容と改善点		
小規模工事については, 要望に対しほぼ対応している。		

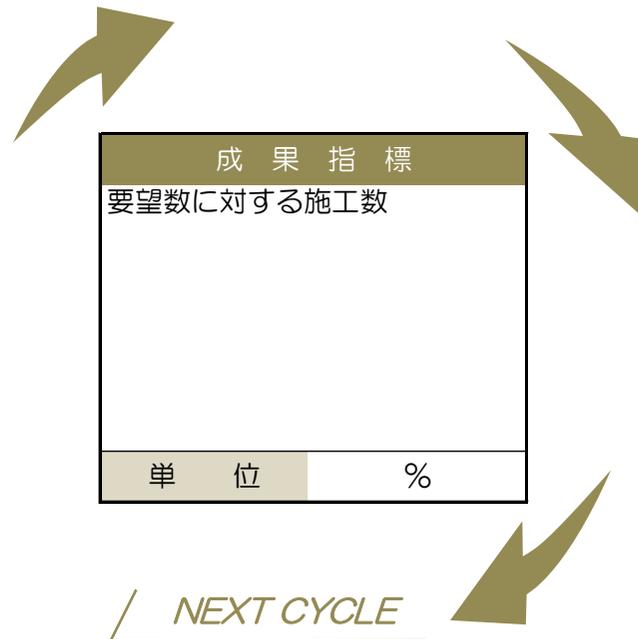
【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	要望及び苦情があった箇所に対し, ほぼ対応できた。
分析	国補事業については遅滞なく整備を実施し, 小規模工事についても, 要望のあった箇所に対し早急に対応できている。しかし, 大規模な要望となると予算確保をしてからの対応となることから, 先送りとなっている案件も多い。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

令和2年度	決算額	175,876千円
	うち 特定財源	82,146千円
成果実績		83.0 %
当初の成果目標		80.0 %
実施内容と改善点		
中規模補修案件38件中19件施工済。小規模補修案件170件中155件施工済。よって要望案件に対し, 83%達成したことから目標どおりとする。また, 改善点として幹線道路, 通学路, 農道, 側溝など多岐に渡る補修要望があり, 工事は危険度等を勘案して対応しているが, 従前より補修要望のある箇所が後回しになるなど, 優先順位を定めても計画通りに進めることが難しいケースが多い。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

令和元年度	決算額	201,537千円
	うち 特定財源	42,500千円
成果実績		86.0 %
当初の成果目標		80.0 %

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	生活道路の整備			
担当	道路課			
予算科目	一般会計			
	8款	2項	3目	1事業
事業の目的	身近な生活道路を安心して歩行、通行できるよう、市道の整備を計画的に促進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	道路網の整備
施策の方向	市道の整備推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	318,438千円
	うち 特定財源	241,650千円
成果目標		35.5 %
実施内容と改善点		
道路改良工事を5路線で計464m行う予定。また、業務委託を2路線、用地買収・物件補償を4路線行う予定。計画的に生活道路整備を行うための基準の整備に着手した。		

令和2年度	決算額	254,386千円
	うち 特定財源	159,970千円
成果実績		35.3 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
道路改良工事を12路線で計1476m行った。また、業務委託を17路線、用地買収・物件補償を11路線行った。		

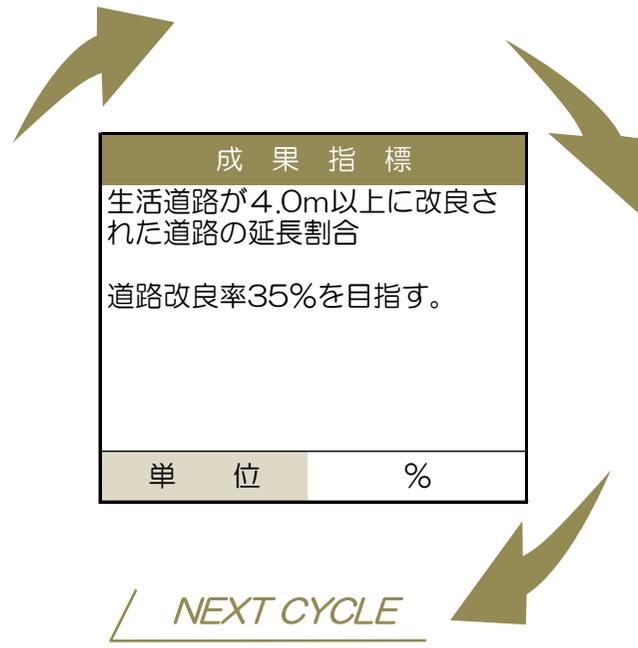
令和元年度	決算額	449,525千円
	うち 特定財源	276,600千円
成果実績		35.05 %
当初の成果目標		- %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	前年度より道路改良率は上昇し成果目標を達成した。
分析	用地買収が完了し、工事の実施路線が増加したため道路改良率が上昇したが、業務委託の進捗が遅れている為、用地買収済み路線が少なく工事の実施も遅れてしまう。路線ごとに計画的に事業を促進しなければならない。

【Action】今後に向けた改善点

方針	



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	橋りょうの維持			
担当	道路課			
予算科目	一般会計			
	8款	2項	4目	1事業
事業の目的	橋梁の長寿命化・修繕・架替に係る費用の縮減と平準化を図るための計画に基づき、継続的な点検・修繕・計画の見直しを行うことで、橋梁の安全性・信頼性を向上させる。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	道路網の整備
施策の方向	道路環境の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	285,871千円
	うち 特定財源	107,720千円
成果目標		80.0 %
実施内容と改善点		
平和橋工事(15m以上・判定3), 常総橋工事(15m以上・判定3), 雷坂橋工事(15m以上・判定2), 15m以上橋りょう点検(16橋), 15m未満橋りょう点検(石下東部・118橋 水海道西部・84橋), 橋りょう委託(3橋)		

令和2年度	決算額	198,843千円
	うち 特定財源	150,660千円
成果実績		50.0 %
当初の成果目標		80.0 %
実施内容と改善点		
平和橋工事(15m以上・判定3), 前原橋工事(15m以上・判定2), 淵頭橋工事(15m以上・判定2), 15m以上橋りょう点検(40橋), 15m未満橋りょう点検(石下東部・5橋), 橋りょう委託(2橋)		

令和元年度	決算額	238,444千円
	うち 特定財源	219,149千円
成果実績		87.5 %
当初の成果目標		80.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	計画に基づいた点検については実施した。工事については、常総橋を計画策定していたが、実施に至っていない。
分析	過去の事例を見ても老朽化等による橋梁事故は大きな被害を及ぼすこと、また、架け換えとなれば多額の費用が必要となることから、長寿命化の推進と日常的な維持補修は必須である。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%